

# 映画研究部

## 映画鑑賞レポート

平成 27 年度

1 月分

## 鑑賞レポート 一覧

20110	「Orange」
20110	「アオハライド」
20139	「Orange」
20318	「タッカーとデイル」
20318	「Orange」
20607	「藁の楯」
20610	「ビリギャル」
20632	「スター・ウォーズ フォースの覚醒」
20729	「予告犯」
20734	「007 スペクター」
20904	「白ゆき姫殺人事件」
21111	「脳漿炸裂ガール」
21114	「天空の城ラピュタ」
21130	「信長協奏曲」
22022	「Orange」
22116	「シャフト」
22118	「Orange」
22121	「アメイジング・スパイダーマン2」
22128	「天空の城 ラピュタ」

## 鑑賞レポート 20110

映画名「Orange」

評価 8/10

### ストーリー

ある日、主人公の女の子のところに未来の自分から手紙が届きます。そこにはこれから起こる出来事が書いてあり、自分が後悔したことを後悔しないように生きて欲しいとも書いてあった。そして最後には自分の好きな人が**10**年後にはもう居ないということも書いてあった。

### 鑑賞レポート

私はこの「**Orange**」という映画を見て、映画の中では主人公のところに未来の自分から手紙が来て、これから自分に起こること、自分が後悔したこと、それを後悔しないように進んで欲しいということ、そして、自分の好きな人が十年後にはこの世にいないということが書かれてあった。しかしこのようなことは現実の世界では絶対「ありえない」と思った。だから私はこの映画を見て、自分の前に起こる一つ一つのことを大切に、後悔しないように生きていきたいと思った。

私は今、高校2年生の3学期で、これから受験生になり、人生が大きく変わる決断をしなければならぬ時期でもある。そんな時、一つ一つのことを大切にせずに生きていると大人になってから必ず後悔してしまうと思う。過去にも高校受験のときにも、少し考えを誤り、取り返しのつかないことになって、今ものすごく後悔している。この失敗を大学受験ではしたくはないと思う。

## 鑑賞レポート 20110

映画名「アオハライド」

評価 5 / 10

ストーリー（ネタバレあり）

主人公の女の子が、中学生のときに好きだった男の子が一度長崎に引っ越してしまい、高校生になってもう一度戻ってきた後の話。

鑑賞レポート

私は「アオハライド」という映画を見て、自分を偽るという事は、後の自分にも何も返ってこないんだなと思いました。

「アオハライド」の主人公は中学生のときに友達が居なくて、さみしい思いをしていました。高校生ではそんな思いをしたくないと思って、自分を偽って友達と過ごしていました。しかし、ある日を境に、その友達とはまったく関わらないことになりました。そんなシーンを見て、私は自分を偽って得たものは本当の自分は求めていないで、薄っぺらいものになってしまい、いずれ自分から離れていってしまうんだと思いました。

時には、自分を偽らないといけないことがあるかもしれません。しかし私は出来るだけ素の自分で色々なものにぶつかっていきたいと思います。そして、素の自分で得られたものを大切にしていきたいと思います。

映画名「Orange」

評価 8 / 10

ストーリー (ネタバレあり)

未来の自分からの手紙が来て、未来を変えるというストーリー

鑑賞レポート (ネタバレあり)

私はこの映画が上映される前に、漫画で友達に勧められたので、見に行こうかどうしようか迷っていました。ですが、上映され始め、見に行った人たちみんなが「この映画は良かったから見に行き!!」のような感じで勧められ、私も友達と見に行ってきました。話の始まり方では、あまり良さそうな映画ではないなと思いました。この映画では青春的なストーリーや、未来の自分からの手紙が高校生の自分宛に届くという不思議なストーリーがあり、面白いです。現実で、未来の自分から今の自分へ手紙が来て、その手紙に書かれている出来事が次々と起ころうと、私はパニックになり、とてもその手紙を怖く感じると思うのですが、ストーリーの中の人は、最初は怖がるのですが、次第に怖さがなくなっていったので、強いなと思いました。そして、本当の未来とはまた別の未来を主人公たちが作っていくのはとてもすごいなと思い、私も自分の未来を少し知りたいと思ってしまいました。

この中のストーリーの中で、友達の大切さもたくさん教わりました。本当の友達はどんな時も自分を裏切らず、自分を正しい方へと連れて行ってくれるものだわかりました。だから私も、自分の友達にこうしていきたいと思いました。見に行ったら良かったと思いました。

今月の鑑賞映画報告

Orange

評価 5 / 5

とても良かったです。

映画名「タッカーとデイル」

評価 8/10

ストーリー

気のいい中年の男2人組、タッカーとデイルは幼馴染の親友同士。こつこつ貯めた金で、ようやく別荘を手に入れた彼らは、休暇を過ごしにやってくる。ところが見た目が強面のため、近くにキャンプをしにきた大学生から「殺人鬼」だと勘違いされてしまった。実は山荘の立地は、**20**年前に惨殺事件が起きたいわくつきの場所だった…。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

この映画をレンタル屋で見つけた時は、ホラー映画だと思っていました。でも実際にこの映画を見てみると、とてもおもしろくて、私が今まで見た映画の中で一番笑いました。

この映画は、2人の仲のいい中年の男が、別荘で休暇を過ごすために森にやってくるのですが、近所にキャンプに来た大学生グループから、その森に住んでいる殺人鬼だと勘違いされてしまいます。本当はとてもいい人なのに、大学生グループの「奴らは極悪な殺人鬼だ」という勘違いによって、人を助けようとする、とどんどん最悪な展開になるところが、コントみたいでとてもおもしろく感じました。

この映画は結末がとても衝撃的で、最終的に大学生の集団グループは、警察に「集団自殺」、「殺人」として処理されてしまいます。ここまでは残念だと思うのですが、殺人鬼だと思われていたデイルが大学生のアリソンをデートに誘い、アリソンもまたそれを受け入れたのです。はじめはあんなに恐れていたのに恋愛感情を抱くようになったのがすごいなと思いました。

とても良い作品だったので、見て本当に良かったと思います。

映画名「orange」

評価 10/10

ストーリー

高校2年生の春、菜穂に届いた手紙。それは10年後の自分からのものだった。書かれていたのは転校生の翔を好きになること。翔が一年後には死んでしまっていること。そしてその未来を変えるためにやるべきこと。はじめはイタズラかと思ったが、書かれていることが次々と起こっていく。なぜ翔を失ってしまったのか？26歳の自分と同じ後悔を繰り返さないためにはどうすれば？動き出す。未来を知った菜穂の運命を変えていく日々。その先にある、暖かく切ない<結末>とは？

鑑賞レポート（ネタバレあり）

私はオレンジを見て、友達の大存在の大きさに気づきました。はじめは手紙のことを信じていなかったけど、手紙に書かれている通りの出来事が起きて、次第に菜穂は信じるようになりました。はじめは恐れながら読んでいたけど、その手紙をきっかけに翔との関係が深まり、菜穂が後悔を消せて、とても嬉しそうでした。

2人が仲良くなっている姿を見ていて、私も青春したいなーと思いました。もし手紙がなかったら、翔は菜穂に告白していなかったらと思うし、あそこまで仲良くなれていなかったらと思うしました。

翔が死ぬ予定だった日に、みんなが翔を必死に探して心配していた姿にとっても感動しました。トラックにひかれそうなときは、とてもハラハラしました。翔が助かった時、泣きながら「友達になってくれてありがとう。」と言ったシーンが私は一番好きです。

とてもいい映画だったので、見て良かったです。

映画名「藁の楯」

評価 9/10

ストーリー

元々経団連会長である経済界の **TOP**、蜷川隆興の孫娘が清丸国秀によって殺害された。蜷川は逃走中の清丸を殺すために、全国民にニュースで清丸を殺せば **10** 億円を差し出すという無茶な行動に出る。潜伏中の福岡から警察庁のある東京まで全国民から命を狙われる清丸を無事に輸送でいるのか。

鑑賞レポート (ネタバレあり)

この映画は藤原竜也が鬼畜犯罪者を熱演している映画なのですが、ファンの人は見ない方がいいかもしれません(笑)。それぐらい藤原竜也の演技力がガチすぎて、胸を打たれました。そして、この藤原竜也演じる清丸に振り回されまくる大沢たかおと松嶋菜々子達ですが、殺されかけながらも国の任務として清丸を守り切ったのは、とてもすごいと思いました。僕だったら怒りで清丸を殺してしまっていると思います。だからこそ思うのは、警察の偉い人や芸能人のSPなどはとても強いんだろうなあって事で、心身ともに鍛えられていてすごいと思いました。

この映画に対して、一つ文句を言うなら、少し怖すぎる気もします。僕はサスペンスやら事件ものは見れる方ですが、それでも少し怖かったです。となると女性や子供が見るとなると…とも思いました。

最後に全体の感想としては、終始ハラハラする映画ですが、家族の愛を感じられたり、結局犯人の清丸は死刑になるので、そのシーンなどはスッキリすると思います。なのでまた見たいです。



## 鑑賞レポート 20610

映画名「ビリギャル」

評価 10/10

ストーリー（ネタバレあり）

元々、普通の女子高生だったが、ギャルになってしまい、そこから偏差値をえげつないほど上げるというストーリーです。そして、慶應義塾大学に受かるというストーリーです。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

まず初めに、この映画を観て思った事は、勉強を死ぬ気で頑張れば、難関の大学でも誰でも努力次第で合格することができるんだなと少し勇気づけられました。

今年、僕は受験生になるので、その前に良い刺激になりました。伊藤淳が演じている予備校の先生に出会えたらなとも思いました。たぶんそんな先生に出会ったら、勉強がおのずと楽しくなってくるのではないかと思いました。

聖徳太子（しょうとくたいし）と読むのに、（せいとくたこ）と読んだのはとても印象的で面白かったです。そして、何より家族があんなに有村架純が演じるビリギャルを助け、受験しやすいようにしてくれたのはとても感動的でした。

今月の鑑賞映画報告

ビリギャル

評価 5 / 5

とても感動しました。

## 鑑賞レポート 20632

映画名「スター・ウォーズ フォースの覚醒」

ストーリー（ネタバレあり）

ファースト・オーダーと呼ばれる強力な力を持つ組織が、自由な世界を脅かそうとしていた。人生をかけて悪と闘ってきた、レジスタンスのレイア・オーガナ將軍は、兄のルーク・スカイウォーカーの力を必要としていた。そして、ファースト・オーダーを指揮する強力なフォースを持つ戦士とハン・ソロの関係は？

鑑賞レポート（ネタバレあり）

今回で第7作となる人気シリーズのスター・ウォーズだが、僕は、今日初めてスター・ウォーズを見ました。全然分からないのかと思いましたが、思っていたより分かりました。

話の内容は、ファースト・オーダーと呼ばれている組織が、平和を守ろうとする人々を滅ぼそうとしてくる。しかし、その悪と闘うレジスタンスがファースト・オーダーと戦いを繰り広げる話です。主人公はレイアと呼ばれるジャクーに住む孤独な少女で、家族を待ち続けている。そして、ファースト・オーダーは太陽からエネルギーを奪い、惑星を破壊しようとしていたが、レジスタンスが必死にファースト・オーダーと戦い、見事勝利する。しかし、レイは家族が帰らないと分かっているが、ジャクーに帰ると決め、帰っていった。

## 鑑賞レポート 20729

映画名「予告犯」

評価 8 / 10

ストーリー（ネタバレあり）

警視庁のネット犯罪の対策部署として設立されたサイバー犯罪対策課。ある日、動画サイト **Youtube** に、新聞紙を頭に被った男が某食品加工会社に放火の予告をしている動画が発見される。その後も幾度となく犯罪予告を繰り返す男。警視庁はこの男を“新聞男”と名付ける。

[Wikipedia](#) 参照

鑑賞レポート（ネタバレあり）

無職だった生田斗真演じるゲイツが鈴木亮平の演じるカンサイに誘われて、工事現場で働くことになった。そこで、ノビタ、メタボ、ヒョロとも出会う。しかし、ヒョロは病気で亡くなってしまい、他のみんなも自殺を考えたが、どうせ死ぬなら、この世の中を変えてからにしようという考えにいたった時は、すこく良いアイデアだと思った。そして、犯罪の予告を **Youtube** で行い、市民に支持されていき、このまま行くと、本当に世の中を変えられるのではないかとおもった。しかし、良いことをしているとは言っても、犯罪なので、警察にも追われるようになり、不思議な感じになった。そしてとうとう追い詰められたので、仲間全員で青酸カリを飲んで死のうとしたが、ゲイツだけ死に、自分以外の青酸カリをすりかえていたので、ゲイツだけ死に、仲間は生き残った。このまま仲間が逮捕されると思ったが、ゲイツが携帯電話に仲間を脅迫していた偽動画を作っていたので、そのおかげで、捕まらなかった。本当に仲間思いだったゲイツを見て涙が出そうになった。

今月の鑑賞映画報告

**Orange**

評価 5 / 5

改めて友達の存在の大切さが実感できるとても良い映画だった。

## 鑑賞レポート 20734

映画名「007 スペクター」

評価 8 / 10

ストーリー (ネタバレあり)

メキシコ・シティで催されている「死者の日」において、ジェームズ・ボンドは建物の屋上から窓越しにスキアラという男に銃口を向け発砲。スキアラがスタジアム爆破テロのため用意していた爆薬入りのスーツケースが被弾して爆発し、スキアラの居た建物は倒壊。辛くも逃げおおせたスキアラを追うボンドは、爆発による混乱の中で **MBB Bo 105** に登場したスキアラを追い詰め、彼の手からある紋章の刻まれた指輪を奪うと、最終的に地上へ突き落とす。

鑑賞レポート (ネタバレあり)

イギリス、ロンドンの **M16** 本部に戻ったボンドを待っていたのは、国家安全保障局の **C**。スパイは過去のものと考え、「00」ナンバーを廃止するつもり **C** は **M16** を **M15** に吸収しようと画策していました。部屋に戻ったボンドの元に、マネーペニーが箱を持ってやってきます。ボンドの生家スカイフォールの焼け跡から見つかったという箱の中には、ボンドの少々時代の写真や証明書が入っていました。ボンドに何か聞いたそうなマネーペニーに対し、ボンドは説明をします。メキシコ・シティでの任務は前代 **M** からの命令だったこと。数日後にローマで行われるスキアラの葬儀にするという事。

アストンマーティン **DB10** でスキアラの葬儀に向かったボンドは、スキアラの妻であるルチアと出会います。ルチアを暗殺者の手から救い出したボンドは、彼女からスキアラは巨大犯罪組織に属していたこと、スキアラの後継者選びの幹部会議が開かれると聞かされます。秘密会議に潜入したボンドは最高幹部の男を見て驚愕します。

## 鑑賞レポート 20904

映画名「白ゆき姫殺人事件」

評価 10/10

ストーリー（ネタバレあり）

ある化粧品会社「白ゆき」で働く同期の2人のOLの話です。周りからの評判もよく、美人の三木典子がしぐれ谷で刃物で複数ヶ所刺され、さらに燃やされたという事件から始まります。その事件を知ったテレビ局のディレクターが真相を求めて社員に一人ずつ訪ねてレポートした。その内容を全国的に放送すると、三木典子と同期のOLである、城野美姫が一方的に犯人にされてしまう。しかし、城野美姫の過去を調べていくと、犯人としての行動が出来るとは思えないほどの人物だった。けれども、行方不明とされていた城野美姫はある目的で東京に言っていて、ホテルの中で、自分が事件の犯人とされていることを知る。もう生きる意味が無い…と思い、自殺しようと思って覚悟を決めたその時、衝撃の真犯人が現れた。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

私は、この映画は前に公開されたときからずっと気になっていて、見るのをとても楽しみにしていました。私も、はじめ見ている時は、そのまま犯人は絶対に城野美姫だと思い込んでいました。けれど、ストーリーの最後に大逆転で、想像もしていなかった人物で、それは2人の後輩の狩野里沙子であった。裏を返したような推理のような話で、とても面白かったです。さらに、絶対いい人だろうと知人の証言を目の当たりにしてしまっって、三木典子という人物の怖さに驚きました。これとは真逆に城野美姫という人物は、幼い頃の友人との思い出や寮での友達の話の証言を聞いていると、私は城野美姫の心を貫いている感じや真面目さに、心を動かされました。どんなにいじわるな三木典子に何かされても、頑張っていた姿に感動しました。その真実を徐々に知っていくうちに、三木典子が残酷な殺され方をされたのも少しは仕方がないのかなとも思ってきました。人の嫌がることや、目に見えているのにやったり、嘘ばかりついていると、いつかは罪があるから絶対にしてはいけないよという言葉が、この映画から伝わってきました。

今月の鑑賞映画報告

白ゆき姫殺人事件

評価 5 / 5

予想していた展開と違って、とても驚いたが、最後までスリルがあってよかった。

犬神家の一族

評価 3 / 5

次々に謎が出てきて、解いていくストーリーがおもしろかった。

## 鑑賞レポート 21111

映画名「脳漿炸裂ガール」

評価 9/10

### ストーリー

バトルロワイヤルというものです。同じ学校の同級生とのデスゲームです。主人公の市位ハナという人と、稲沢はなという人がいて、この2人が協力してゲームをクリアしていき、最後に残った2人。どちらか1人しか生きられない。最後に勝つのはどっちだ!!

### 鑑賞レポート

この映画は少し短い映画で、謎解きゲームなのですが、脳漿炸裂ガールというボーカロイド曲があり、これを軸としてストーリーが作られているようです。自分がこの曲を知ったのは、校内で流れていて、この曲を調べたら、とても人気のある曲で、神曲といわれるほどの曲でした。友達などに聞くと、ほとんどが知っているといっていました。初音ミクというボーカロイド、略してボカロのキャラが人気であったそうです。自分は全く知らなかったので、曲も知らないはずでした。この曲を知っているならば、ぜひ見て欲しい映画になっています。出演者の人もかなりよくて、自分が知っている「暗殺教室」でも出ている“竹富聖花”さんがとても好きで、そこにも興味がわきました。

なぜその曲が軸になるかという点、歌詞が“ストーリー”になっているからです。例えばでいうと、歌詞に“マカロン”がでてくるのですが、ストーリーにも“マカロン”がでてきます。ほとんど歌詞がストーリーになっているので、とても面白いです。この曲や出演者を知っているなら、かなりオススメです!!

## 鑑賞レポート 21114

映画名「天空の城ラピュタ」

評価 6 / 10

ストーリー（ネタバレあり）

主人公のシータという少女は、政府から追われている身でした。それはなぜかという、シータは母から受け継いだ青いクリスタルを持っていたからです。シータは政府から逃げている途中でバズーという少年に出会います。シータの持っていたクリスタルの意味がわかり、それはすごい昔にラピュタで作られた特別な石だということがわかりました。この石の能力は、ラピュタに戻るために必要なものでした。そして、政府の悪者にラピュタを乗っ取られ、ラピュタを崩壊させる呪文“バルス”を唱えた。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

シータの持っていたクリスタルが最後の最後で重要な役割をして面白かったです。最後はあまり意味がわからない終わり方だったので、最後だけ残念でした。ジブリの映画は、どれも面白く全部好きです。バルスと言う呪文が面白くて、印象に残るフレーズでした。次にジブリの映画がでたら、観に行きたいです。ラピュタのロボット兵がキモチ悪くて、小さい頃は怖かったです。ラピュタみたいな世界があったらおもしろいなと思いました。小さい頃見た天空の城ラピュタと今現在の自分が見た天空の城ラピュタの印象が全然違って面白かったです。これからも、ジブリの映画をたくさん観たいです。

## 鑑賞レポート 21130

映画名「信長協奏曲」

評価 8 / 10

ストーリー（ネタバレあり）

ドラマの続編になっているものです。高校生のサブローが突然タイムスリップして戦国時代に行ってしまいます。そして、そこで織田信長に出会って、サブローが本物の信長に代わって信長をすることになってしまいます。そこから平和な世を作るため天下を目指していきます。しかし、家臣に裏切られ、殺されて、再び現代に戻るのです。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

私はドラマでやってたときから、この信長協奏曲を見ていました。ドラマの終わり方が中途半端だったので、続編があると思い、楽しみにしていました。そしてやっとこの1月に続編が出てくれて、とても嬉しかったです。内容はそのままドラマの続きからでした。私が一番心に残っているのはやっぱり最後のシーンです。そのシーンというのは、家臣の秀吉がサブローを狙って殺そうとするところです。サブローは未来から来ているので、自分が殺されることを知っており、嫁のきちょうさんに伝えるのです。きちょうは知っておりながらサブローとの最後の戦いを嫁として見送る所がとても感動しました。

信長は最後まで戦うが、やはり負けてしまい、首をはねられてしまいます。そしてサブローは信長としての人生は終わり、再び現代人として帰ってきます。すると家に一通の封筒が届きます。それは同じ江戸時代にタイムスリップした人からで、そこにはきちょうのビデオカメラ映像でした。それを見たサブローは涙を流して、何回も見直します。そのシーンも感動的です。

この映画は笑いあり、感動あり、友情ありのいろいろがつまっている映画です。是非みなさんもみてはどうですか。

今月の鑑賞映画報告

スターウォーズ フォースの覚醒

評価 3 / 5

とても迫力がありました。



映画名「Orange」

評価 8/10

ストーリー

長野県松本市に住む女子高校生の高宮菜穂は、2年生になった4月の始業式の日、差出人が自分になっている手紙を受け取ります。その手紙には**26歳**になった**10年後**の自分が後悔していて、その後悔を**16歳**の自分には味わってほしくないこと、菜穂に今後起きること、それに対しては菜穂にしてほしい行動が書かれていた。**10年後**の菜穂が書いた手紙の目的が成瀬翔を事故から救うことと分かり、**16歳**の菜穂は「翔のいない未来」を変えるための手紙に書かれているように行動しようと努力していく。

鑑賞レポート

僕はこの映画の題材となったマンガを持っています。全巻持っているので、最後まで内容を知っている中で観に行きました。今と未来を同時進行で進めていくのは、とてもおもしろく思えましたし、パレレルワールドの事など、しっかり話がつながっていて、上手に出来た話だと思いました。やっぱり感動する作品です。少し話が重い気がします。後悔や未来を変える題材なので合っていると思います。少しの事ですぐ自分を責める翔には少しイライラしましたが、優しさが空回りしているんだなあとか今現在の学生達もこんな風なのかなあなど考えました。とても心が切なくなり、感動し、今をどれだけ大切に生きるべきか、など教えてくれているような気がした青春ラブストーリーです。

個人的に好きな登場人物がいて、萩田朔といいます。菜穂のクラスメイトで翔とも仲が良いキャラでした。萩田は、大のお笑い好きで、翔にお笑いを教えたり、ギャグ系のマンガを貸したりするんですが、皆からいじられたり、たまにボケたりしても無視されたりするんですが、どことなく可愛いんです。他の人も少なからずそう思っているはずですよ。

## 鑑賞レポート 22116

映画名「シャフト」

評価 8 / 10

ストーリー（ネタバレあり）

高校2年生もおわり、宿題もなく、楽で楽しい春休みを満喫しようとしていた阿良々木暦だが、そんな中、奇妙な噂を耳にする。夜な夜なとても美人な吸血鬼の女性が街をさまよっているという。しかし阿良々木は、特に気にすることもなく、夜に一人でレンタルビデオショップにビデオを借りに行く。そしてそこで阿良々木は吸血鬼と遭遇してしまう。しかし、その吸血鬼は姿こそ美しいものの四肢を切断され、血だらけになりながら、こちらに助けを求めてきたが…。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

長く、アニメを続けていた物語シリーズが、ついに映画化ということでこの作品を見に行きましたが、やはりアニメもかなりよい作品だという事もあって、映画になって、さらに作品に磨きがかかり、良い作品に仕上がっていたといえるでしょう。しかし、この作品は三部作を予定されているなかの一作目という事もあり、上映時間がとても短いという事と、話の終わり方が次につなげる様にできており、すごく次が気になる終わり方をしていたので、そこらへんは少し残念でした。そしてやはり、ある程度の過去作品は見た上でこの映画を見ることを強くオススメします。過去の作品を見ることで、キャラクター同士の会話や、関係性などもより楽しく、おもしろく見るができると思います。しかし、この傷物語は、他の化物語や終物語等の作品の中で、時系列（ストーリーの中での日時）では、一番最初、減点にあたる作品になるので、この作品をきっかけに他の作品を見始めてみるのもいいかもしれません。

## 鑑賞レポート 22118

映画名「Orange」

評価 8/10

ストーリー（ネタバレあり）

この物語は、高校2年生の春、主人公の土屋太鳳演じる菜穂に続いた手紙は、**10**年後の自分が書いた手紙だった。そこには未来の自分が起こってほしくない事がたくさん書いてあり、それを起こさないために書いたものだった。その手紙には成瀬翔が転校してくる事、そして翔を好きになることや、**10**年後の未来には翔がいなくなっている事などが書かれており、菜穂は未来を少しずつ変えていくという物語です。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

この映画を見て僕が思ったことは、若い人や恋愛映画が好きな人がとても合う映画だと思いました。そしてこの映画は僕と同じ高2の時の物語なので、自分の経験等と重なり、少し身近に感じました。

僕が印象に残っている場面は、翔が先輩の女の人と付き合っている？と書いた紙を菜穂の消しゴムのカバーに入れて、菜穂はダメと書いた紙を翔の靴箱に入れるが、そのときにはもう先輩と付き合っている場面です。2人の思いが行き違って、切なく感じました。もう一つは体育祭のリレーで翔のためにみんなが力を合わせて走っていたのも印象に残っています。みんなの気持ちが一つとなり、かっこ良かったです。

この映画の主題歌のコブクロが歌う「未来」の歌詞が映画にも合っていて良かったです。

この映画は仲間との友情や大切さを強く感じて、感動して泣けるすごく良い作品なので、ぜひ見てください。

## 鑑賞レポート 22121

映画名「アメイジング・スパイダーマン2」

評価 9 / 10

ストーリー (ネタバレあり)

主人公のピーター・パーカーは高校を卒業したその日の夜に、ずっと付き合っていた、グウェン・ステイシーと別れました。しばらくして、スパイダーマンに助けられて、マックスという男が研究室で事故にあいます。そして目が覚めると特殊な能力が使えるようになっています。その日の夜に、ピーターは別れたグウェンと会う約束をしていました。そして会って話をしているときに、特殊な能力をもったマックスが街で暴れだしたので、ピーターは戦いに行き倒しますが、マックスはある研究所で研究されます。人体実験をしているのをハリーのせいにして、ハリーは会社を追い出されます。ハリーはマックスと手を組んで、スパイダーマンを倒そうとします。

鑑賞レポート (ネタバレあり)

この映画の最初に、ピーター・パーカーのお父さんが殺されるシーンがあるのですが、そのシーンを僕は何かの宣伝かなと思いました。だけど最後のほうでピーターのお父さんが何をしていたのか分かります。ピーターのお父さんが何をしていたのかを知って、なぜピーター・パーカーを捨てたのか理解しました。あと良かったのが、前のスパイダーマンと違って、アメイジング・スパイダーマンは、技術が発達したので、より鮮明に映っていました。前のスパイダーマンよりはっきりと服の模様が浮かんでいました。前のスパイダーマンの服はダサイと思っていましたが、アメイジング・スパイダーマンではなんだかカッコイイと思ってしまいました。最後のほうで、ピーターの友達のハリーは変身するのですが、その変身するシーンは電気がピカピカしていたので、より気持ち悪かったです。アメイジング・スパイダーマン2を見たら、3もありそうです。その時は映画館に見に行きたいです。

映画名「天空の城 ラピュタ」

評価 10/10

ストーリー

女の子シータが持っている飛行石をめぐる、政府と海賊ドーラ一家が戦っていた。逃げようとしたシータは、誤って乗っていた飛行船から落ちてしまうが、飛行石の特別な力により、ゆっくりと落ちていき、少年バズーに助けられる。バズーは追ってくる政府からシータを必死に守り、逃げ続け、数々の苦難を乗り越え、とうとうラピュタに到達。しかし、シータと同じ、ラピュタの末裔であるムシカにより、ラピュタに危機が訪れる。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

小さい頃から何回も見ている映画なので、楽しみながら鑑賞することができました。今回、高校2年生になってから見るのと、小さいときに見たのとでは、何か違うものを感じました。幼い時ではわからなかったことでも、高校生になると分かるし、深く考えさせるものでもありました。主人公のバズーが父が見つけたというラピュタの存在を信じ続け、そして自分の力で見つける。このことは、今の自分に照らし合わせることができると思います。何かひとつのことを信じ続ければ、夢は叶うという考えに近いと思います。また、この映画で絆の大切さを学びました。人との絆はどんなものよりも大切だと改めて思いました。これらのことを踏まえて、もう一度ラピュタを見てみたいです。